



ロシアによるウクライナ侵略を考へてみる

(第1回)

日下部信雄

ウクライナ問題というか、ロシアによるウクライナ侵略問題、もう少しはっきり言えば、ロシアによるウクライナへの侵略戦争について私見を述べてみたいと思います。あくまでも「私の私見」であり、「九条の会・流山」の見解ではないことを付言しておきます。

もっと前から「お前も何か書け」という提案をあるメンバーから言われていました。しかし、私がもたもたしているうちに事態はどんどん変化して、ついにロシアが劣勢になったといわれる中で、もしかしたらロシアが核兵器を使うのではないかと、との見解も出てきたりしました。最近、プーチンが「核兵器を使うつもりはない」といつたりしています。いずれにしろ予断を許しません。

しかし、もう一度そもそもの出発点に立ち返って「ウクライナ問題」とは何なのかを考えてみたいと思いました。少なくともこの問題は「悪魔のようなプーチンと天使のようなゼレンスキーの戦い」というような問題ではないことははっきりさせておかねばならないと思います。しかし、少し長くなりそうです。この「ニュース」のスペースが許しませんので、できれば数回の分載とさせていただければ幸いです。その間にも事態の変更があるでしょうけれど、それにしても、岸田政権は「ウクライナ問題」解決のために何かしているのでしょうか。

前置きはこの辺にして、次の文を紹介したいと思います。



これは、私が所属する「郷土教育全国協議会」という民間教育団体のブログに掲載されたものです(2022.2.26)

ロシアによるウクライナ侵略(侵略)が始まった直後に書かれたものです。

ロシアとウクライナは大昔はそれぞれ別の国でした。しかし、今から100年ほど前に、そのロシアとウクライナとその他、周りの国々が一緒になり、大きな「国」をつくりました。それが「ソビエト連邦」(ソ連)という国で70年ほど続きました。ソ連は今では、地図上にない国です。

ソ連は、アメリカと「どちらが地球で最強か」ということで、争いました。(でも、直接戦争はしていません。)結局、今から、30年ほど前に、ソ連は「もう、やめた。」と、当時のリーダーのかけ声で「解散」してしまいました。

そして、ソ連という国の一部だったロシアとウクライナ

(と、その他の国々)は別々の国に分かれました。

しかし、その後、ロシアの中から「ロシアを昔のソ連のようにしたいな。」という人がリーダーになりました。

その一方、ウクライナは、ロシアと別れてからも「ロシアと仲良くしたいな」という人々が、ウクライナを動かしてきました。だから、ロシアのリーダーは「ま、あせらなくてもいいか。」と思っていました。なにより、ロシア国内での自分の力を強めることが大切だったので、そのことに熱心でした。

しかし、そうしているうちにウクライナの中から、「アメリカやその友達(友だち)の国々と仲良くしたいな」という人がリーダーになりました。その人は言いました。「アメリカが主催するサロンに、参加させてよ。」

それを聞いたロシアのリーダーは慌てました。「おい、待てよ。お前たちは、俺たちの仲間じゃなかったのかよ。」ウクライナのリーダーは「そんな30年以上も前のことなんか知らないよ。うちには資源もあるし、アメリカとその友達と仲良くした方が、利益があるもんね。」

これに怒った、ロシアのリーダーが「この野郎。昔は一緒に(一緒)の国として、おおいによくしてやったのに、ふざけるな!」と怒りました。

しかし、ウクライナのリーダーも「昔は一緒に(一緒)の国って言ったって、このウクライナにいろいろなものを押し付けたり、いろいろなものを奪ったりしていったじゃないか。」ということでケンカがはじまりました。

ところで、ウクライナの中には、昔のよしみで今でもロシアにお世話になってる人がいました。

「ロシアのリーダーさんよ。このままじゃ、俺たちウクライナにもいられなくなるし、またロシアの一緒に(一緒)になれなくなっちゃうよ。助けてくれよ。」という訴えをしてきました。そこでロシアのリーダーは言いました。

「よし、俺のいうことを信じるウクライナの(一部の)人たちよ。助けてやるから、まずは、俺の指定する場所に行きなさい。」

そして、ロシアのリーダーの言うことを信じる人たちは、ウクライナの一部に集まり、「新しい国」を作りました。すぐにロシアは「新しい国」として認めました。

ロシアのリーダーは言いました。「ウクライナにできた『新しい国』が、ウクライナにつぶされそう。つぶされる前に助けるぞ。そして、もともと、俺たちの仲間だったウクライナを変な奴らから取り返して、俺たちロシアと再び一緒にするぞ。」

そうして始まったのが、今回の「ロシアのウクライナ侵略」です。

戦争が大手を振ってやって来る

2006年に9条の会・流山が発足以来毎月発行してきたニュースは200号になりました。
現在毎月1200枚印刷して会員他、地域や駅頭などで配っています。

ニュースは世話人代表の石林さんが一人で作成し続けて頂いた結果です。感謝。活動の原点です。

今私たちは皆さんと共に活動を強め拡げていかなければなりません。現在の社会状況を座視するわけにいかないのです。

現政権は大手を振って戦争への道に国民を連れ込もうとしています。政権の暴走を止めるため憲法力を生かし国民の粘りで戦争をくい止めることを呼びかけたいと思います。沈黙は加担者になりかねません。 三原

「ザ・思やり」

上映会

◇日時 12月3日(土) 10時開会

◇会場 おおたかの森センター ホール

◇参加費 500円 マスクの着用をお願いします。

米軍関係のいろいろな事件が起こるたびに「日米地位協定」の異常な不平等な実態が問題になり、全国知事会も見直しを求めています。自公政府は一向に動きません。米軍の世界戦略のために日本に基地を置いているのに「日本を守ってやっている」と称して在日米軍植民地並みの横暴の実態。どんな約束をしても、無視して勝手な軍事演習や市街地での低空飛行などやりたい放題。

しかも米軍基地の電気、ガス、水道……みな日本の負担。米軍人の住宅、テニスコート、ビーチ、遊技場、バーの店員の給料まで日本の負担。

こんな実態に驚いたアメリカ人が告発したドキュメント映画です。



＜会場へのアクセス＞

おおたかの森駅から徒歩11分

・バスでお越しの場合 「流山おおたかの森」駅西口

京成バス(流山市役所・平和台駅経由)

「おおたかの森小・中学校」下車すぐ

(駐車場が少ないので、出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。)

お粗末！ひと月で3人の大臣辞任

岸田内閣が人心一新で支持率上昇を狙ったメンバーが次々と辞任に追い込まれ、今後も総理自身の空白領収書を含めて疑惑で追及されそうな予備軍がぞくぞく。こんな輩が戦争準備に邁進。恐ろしや！

本気で大軍拡

敵基地攻撃能力のために増税



岸田総理が米大統領に「相当の軍拡」を約束、5年間で軍事費倍増を具体化し始めました。例によって「防衛力強化のための政府の有識者会議」をでっち上げ、その報告書案が明らかになりました。

自衛隊の「反撃能力」(敵基地攻撃能力)の保有が不可欠だと、今後5年を念頭に国産のスタンドオフミサイルや外国製のミサイル購入など早期に十分な数のミサイルを配備やサイバー攻撃への対処を求めています。

その財源について「幅広い税目による負担が必要なことを明確にして理解を得る努力を行うべきだ」として、増税を含めた国民負担の必要性を盛り込んでいます。今までおずおずと出していた、軍拡と増税の野望をあからさまにして開き直っています。当初計画されていたのは法人税、個人所得税、消費税などだと言われますが、大企業側のクレームで早々と法人税が報告書から消えたと言います。そして社会保障費の削減です。

次のように国民負担増のプランオンパレードです。

政府の社会保障費削減プラン

年金 ・今年4月から年金0.4% 引き下げ(2年連続)

・年金保険料の20歳から59歳までの納付義務を64歳まで5年間延長

医療 ・今年10月から75歳以上高齢者の負担倍増

・来年度から国保保険料上限額引き上げ(2年連続)

介護 ・介護保険料の上限額引き上げ(2年連続)

・「要介護1、2」の基準を緩和し自治体ごとの事業・予算に移行

・自己負担2割に倍増/ケアプラン作成の有料化

・老人保健施設の相部屋の部屋代徴収、などを検討

おおたかの森駅宣伝と署名

12月9日(金) 15:30~16:30

1月は1月8日(日)9:30

キッコーマンアリーナ で成人式の訴え

同日 14:00~15:30 おおたかの森駅で

九条の会の駅頭宣伝 9日(月)は無し

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山